

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象：2年生

調査事項

ア 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

1 結果と分析

- 男子は、特に「上体起こし」の「筋力や筋持久力を発揮する能力」が優れている。
- 女子は、特に「ハンドボール投げ」の「器用に体を動かす能力」が優れている。
- 男女とも、「20mシャトルラン」などの「筋持久力を高める運動」に取り組む必要がある。
- 女子の体力合計点が全国平均・県平均を下回っている状況にある。

2 取組についての評価

(1) 保健体育科の学習指導

①効果があった取組

- ・仲間との交流を通して、動きのポイントや技のコツ等を共有する活動の設定
- ・易しい場の設定や恐怖心を和らげる教具の工夫
- ・できるようになったことを振り返る自己評価や振り返り活動・時間の設定
- ・ICT機器を用いた動きの確認を行う活動の設定

②改善を図る点

- ・体力を高めるために、授業で体の動きを高める運動の実施内容を工夫すること。
- ・授業の中で、児童が主体的に練習に取り組むことができるような場の設定や生徒の実態に合わせた教具の工夫を行うこと。
- ・保健体育科の授業の中で、ICT機器を活用し、自分の動きや他者の動きを評価する活動を設定できるように工夫すること。

(2) 今後の体力向上に対する取組

- ・運動することへの意識を向上させるために、手軽に取り組める運動例を紹介する。
- ・保健分野や体育理論と関連して、運動することへの意欲の向上を図る。
- ・一単位時間の学習内容の精選とタイムマネジメント力の向上を図る。